保存版

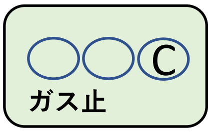
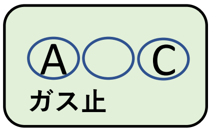
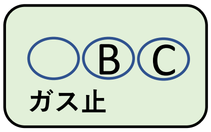
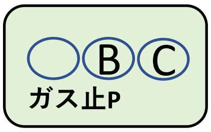
緊急時の
ガスメーター安全機能と使い方！

この時期に多いお問い合わせの1つが『**お湯を使っていたら止まった**』等のご連絡です。
今回は、遮断の原因と復帰の方法についてお知らせします。

こんな時、自動的にガスを止めます

ガス使用量を図るだけでなく24時間ガスの流れを監視し、危険だと判断すると自動的にガスを止めます

季節の変わり目にガ ス の使用量が増加して、その増え方にﾒｰﾀｰの学習機能が追いつかないとガ ス漏れの可能性があって遮断します

【ﾒｰﾀｰ表示】	【主な原因】	【対処方法・メモ】
 流量遮断	･ガ ｽ機器多数同時使用 ･ゴ ﾑ管外れ ･ガ ｽ栓誤解放	**全てのガ ｽ機器を止めて復帰操作！** ｼｬﾜｰからお湯を張るようになると、お湯の設定温度も上がり給湯量が増え多くのガ ｽを使用します 秋口～冬にかけて一番多い遮断です
 長時間使用遮断	･ガ ｽ器具消し忘れ ･長時間煮炊き	**全てのガ ｽ機器を止めて復帰操作！** お風呂のお湯の出しっぱなしや、おでんなどの長時間煮炊きには気を付けましょう
 感震器･警報器遮断	･震度5相当の地震が起きた場合 ･ﾒｰﾀｰ連動の警報器が鳴った場合	**全てのガ ｽ機器を止めて復帰操作！** 台風等の強風でも感知する場合があります 警報器が鳴った場合は、換気扇を使用しないで窓を開けて換気をよくおこなってください
 圧力低下遮断	･バ ﾙブ や大元栓を閉めたままガ ｽ器具を使用した ・容器のガ ｽ切れ	**全てのガ ｽ機器を止めて復帰操作！** 容器バ ﾙブ や大元栓のｺｯｸが開いているのを確認してから復帰操作してください 容器のガ ｽ切れの場合は至急髙岡まで連絡を！

ガスメーターの
復帰方法

ガス臭い時は　**火気厳禁！！**

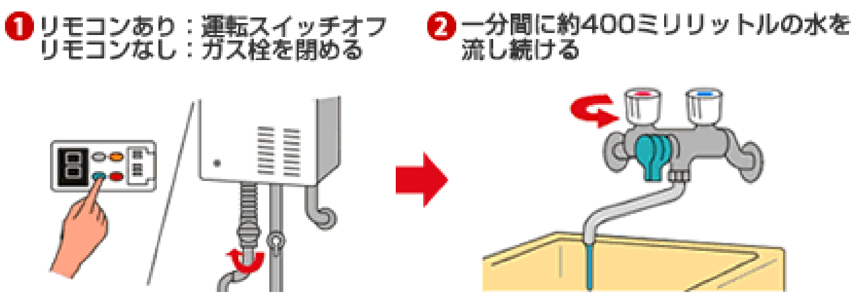
復帰操作をしても復帰しない時は**復帰操作を繰り返さず**(株)髙岡へご連絡ください

❄ 給湯器・配管の凍結について ❄

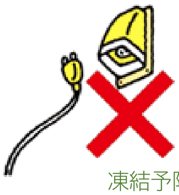
ガス給湯器には凍結防止機能（凍結予防ヒーターや凍結防止運転機能）が搭載されており、給湯器内部は凍結しにくくなっています。
ただし、ガス給湯器の給水・給湯・追いだきふろ配管が屋外に露出していると、配管が凍結してしまう場合があります。

【配管等の凍結予防方法】

①ガス給湯器のリモコンの運転スイッチをオフにしてください。リモコンがない場合は、ガス給湯器のガス栓をしっかりと閉めてください（次の②を行うことによりガス給湯器が燃焼する可能性があるため）
②お湯の出る蛇口から一分間に約400ミリリットル以上の水を流し続けてください（浴槽などで受けると経済的です）



（注意）電源プラグは抜かない



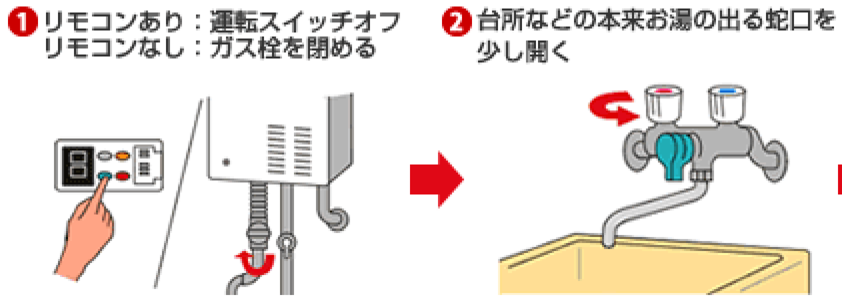
凍結予防ヒーターが装備されている機種は凍結予防ヒーターが作動しなくなるので電源プラグは抜かない

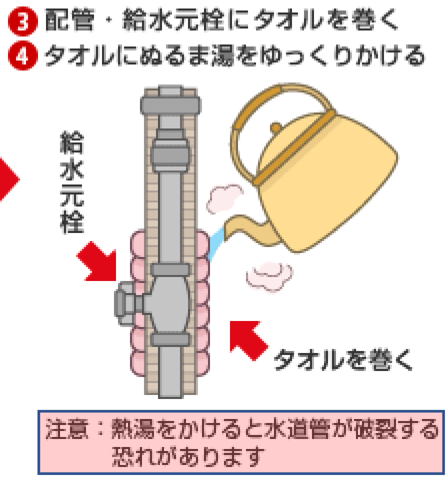
それでも凍結したときは・・・

万一、配管が凍ってしまった場合は、自然に溶けるのを待つか、凍った部分にタオルや布を巻き、その上からゆっくりとぬるま湯をかけて解凍してください。

【　解凍する場合　】

①ガス給湯器のリモコンの運転スイッチをオフにしてください。リモコンがない場合はガス給湯器のガス栓をしっかりと絞めてください（次の②を行うことにより、凍結解消後にガス給湯器が燃焼する可能性があるため）
②台所などの本来お湯の出る蛇口を少し開けてください
③凍っていると思われる配管・給水元栓のまわりにタオル等を巻いてください
④タオルにぬるま湯をゆっくりかけてください
⑤水が流れるようになったら、②で開けておいた蛇口を閉めてください
⑥タオルを外し、配管・給水元栓のまわりについた水分を乾いた布でふき取ってください





※ ぬるま湯をかける際、付近の電源コードやコンセントにかからないようご注意ください
※ 水が出るようになっても、機器や配管からの水漏れがないかなどをよく確認のうえご使用ください
※ 蛇口から水を流し続けていた方は、凍結が解消されると水が流れたままになりますので、しっかり締めておいてください

TAKAOKA